

平成19年(2007年)は多くの選手が北信越を突破して、全国大会への切符を手にした。山佐輝が全国小学生、坂田侑伽・木村優布子が全日本ジュニア12歳以下シングルス、長根尾直輝・山佐輝組が全日本ジュニア12歳以下ダブルスである。1回戦突破はならなかったが、全国大会の空気と風景を身体で感じることができる貴重な体験となった。

平成20年(2008年)は長根尾直輝の活躍が特筆される。全国小学生ではベスト16に進出し、全日本ジュニア12歳以下シングルスではシード選手を次々と破って全国ベスト4という破竹の勢いを示した。また、グラスホッパー全国ジュニア大会では堂々の準優勝を果たしている。この年、長根尾直輝・山佐輝組は全日本ジュニア12歳以下ダブルスに2年連続出場した。



強烈なフォアハンドと精神力の強さが持ち味。

(2008. 8. 29韓国安東中学テニスコート)



教育長表敬訪問

(2008. 9. 19小松市役所)

平成21年(2009年)は小松ジュニアの選手たちが全国大会のステージで躍動した。

山佐輝は全国選抜ジュニア12歳以下で4位・全日本ジュニア12歳以下シングルスで準優勝という好成績を修め、全日本ジュニアダブルス・RSK13歳以下全国選抜ジュニアにも出場している。

長根尾直輝は全日本ジュニア14歳以下シングルスに出場、ダブルスではベスト16に進出した。また、RSK13歳以下全国選抜ジュニアでは3位となり、中牟田15歳以下全国選抜ジュニアにも出場した。

木下恭輔は初出場の全日本ジュニア14歳以下ダブルスでベスト8に入るという快進撃であった。

坂田侑伽は全日本ジュニア14歳以下シングルスに出場した。また、中学3年生ながら国民体育大会少年の部の代表となり、この年を含めて4年間石川県代表として大活躍した。



(左) 全国選抜ジュニア
安定した試合運びとテンポの速い攻撃が武器。

(2009. 5. 23
吉田記念テニス研修センターにて)

(右) 教育長表敬訪問
(2009. 8. 21
小松市役所)





木村優布子 オールラウンドプレーヤー。
着実に力を付け、星稜高校3年で3冠に。



坂田侑加 高い打点からの攻撃的なテニスの魅力。
4年連続国体選手を務め活躍した。



山佐輝「修造チャレンジ」での練習風景（2009. 11. 3 荏原 SSC）
コーチはボブ・ブレッドと松岡修造

平成22年（2010年）も快進撃は続いた。

長根尾直輝は全国選抜ジュニア14歳以下・全日本ジュニア14歳以下ダブルスでベスト8に入り、全日本ジュニア14歳以下シングルス・全国中学生にも出場している。

この年、山佐輝は全国選抜ジュニア14歳以下・全日本ジュニア14歳以下シングルス・ダブルス・全国中学生・RSK13歳以下全国選抜ジュニア・中牟田15歳以下全国選抜ジュニアの6全国大会に出場し、全日本ジュニア14歳以下シングルスベスト8・RSK全国選抜ジュニアで準優勝という好成績を修めて全国を代表する選手となった。

坂田侑加は中牟田15歳以下全国選抜ジュニアでベスト16に入り、国民体育大会にも出場した。また金沢伏見高校に進学し、木下恭輔とともに全国高校総体にも出場している。
